

やまなし

2011.3.31

vol.8

no. 2

contents

2 新入生の皆さん、図書館で待ってます

4 利用者の声

5 学生にすすめる本

6 利用者アンケートの実施について

7 図書館トピックス

テーマ展示

- 「新生活におくる本」開催中
- 「UpToDate」オンライン版の利用開始
- 3F環境整備の完了〔本館〕
- 国試優先席の設置〔医学分館〕
- 医学科第26期卒業生より図書寄贈
- 図書館HPリニューアル!!

8

今後のイベント紹介

新入生の皆さん、図書館で待ってます



イケダ ナオタカ

山梨大学附属図書館長 池田 尚隆

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

高校時代、図書室は好きでしたか。大学では普通、図書室は附属図書館と名前が変わり、大きな独立した建物になります。大勢のスタッフが揃っていて、本や座席の数もぐんと増えます。

もちろん山梨大学にも附属図書館があります。生協前広場のすぐ西側というキャンパス内の一等地です。山梨大学の図書館はここ数年で随分変わりました。もちろん良い方向にです。その詳細も含めて、図書館の紹介をしましょう。

まず入り口を入ると左が受付。本の貸出し・返却の場所とと思っている人が多いかもしれませんが、実は図書のプロ達が揃う“使える場所”です。わからないことがあれば、何でも相談しましょう。図書館の利用法はもちろん、資料収集に関する相談もできます。また、大学の図書は図書館だけでなく、先生方の研究室にあるものも多いのですが、その情報ももらえますし、山梨大学にないものは大学図書館間のネットワークで探してもらえます。本だけでなく、資料や論文のコピーを取り寄せてもらうことも可能です。

さて、入り口の右はトイレ。2年前、1階から3階まですべてピカピカに改修され、しかも洗浄便座付きです。先輩達の中にはトイレだけ利用しに来る人もいますが、せっかく図書館に入ったのですから、閲覧室ものぞくようにしましょう。

2階に上がります。階段の左を見てください。新着図書コーナーです。図書館が新しく購入した本は、すべてここに並べられます。自分の趣味や専門の新刊書をチェックするもよし、現在の知の流れをつかむもよしです。

ついでに紹介しましょう。2年前から学生希望図書の購入枠を大幅に拡大しました。図書館

に備えてほしい本があれば、どんどん希望を出してください。もちろん大学図書館にふさわしい本かどうかのチェックはしますが、今のところ、だいたい希望通りに購入できています。購入までの時間も短くなりましたし、図書が使えるようになったら購入希望者に連絡もします。授業に必要な参考図書などの場合、複数冊購入することもできます。希望者が多くてなかなか借りられないような場合、購入希望書に理由を書いて出してください。

考えようによっては、皆さんのお小遣いのうちの図書費が大幅に増えたともいえるわけです。うまく利用してください。ただし教科書は自分で買ってください。いつも手元にあること、書込みができることは、やはり格段に勉強を進めやすくしてくれます。使い込んだ教科書はこれから先の財産にもなります。

さて、階段の右側はドリンクスペースです。本を汚す可能性があるため、また図書館の静寂を守るため、このような場所はタブーだったのですが、長い時間図書館で勉強する人たちのために思い切って設置しました。節度を守って利用してくれているようで、おおむね好評です。皆さんもどんどん使ってください。

正面に進むと、企画コーナーがあります。図書館の職員を中心に、時には生協の協力なども得て、“自転車”“料理”“旅行”などのテーマを設けて、展示や関係図書の閲覧を行っています。テーマは年に数回、変更されます。皆さんの意見



や協力も求めています。

遅くなりましたが、肝心の閲覧室です。2階の閲覧室は椅子や座席間の仕切りを一新しました。3階はもっと大々的に改修が行われ、スペースを広げるとともに、机・椅子も明るい雰囲気のものに換えました。以前は3階の利用者はあまり多くなかったのですが、いまでは3階から埋まる日もあるほどです。

2階、3階とも快適で勉強しやすい、時には居眠りもしやすい(?)環境が整っていますので、とにかく1度、座りにきてください。

以上、附属図書館を最近の改修点を中心に紹介しました。先輩達にはたいへん好評で、この2年間で入館者数が約7%、貸出し図書数が約35%増えています。

医学部キャンパスには附属図書館の医学分館があります。こちらも昨年、ずっと利用しやすくなりました。一般書の多くを甲府の本館に移してスペースを広げるとともに、机と椅子を一新、個別のスペースを確保しました。勉強には最適な環境となり、利用者が急増しています。医学部生は来年まで待つ必要はありません。クラブ活動などで医学部キャンパスに行った際に、のぞいてみてください。

もう一つ山梨大学には子ども図書室があります。図書館の裏の小さな建物ですが、地域の子どもを対象に、本の紹介・貸出し、読み聞かせ、遊びなどの活動を行っています。すべて学生ボランティアが運営しています。昨年は読売新聞社や甲府市と共同で“まちなか子ども図書室「ハロウィン」”というイベントを甲府市中心街で行い、2日間で400人もの親子に来ていただきました。子どもと子どもの本に興味のある人は、ぜひ活動に加わってください。

今回の大震災、あまりの惨状に言葉もありません。被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

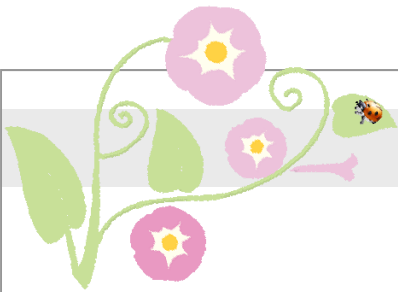
皆さんも、被災者のことを思いやり祈ることに始まり、募金やボランティア、節電など、少しでも力になりたいと考えていることと思います。大切なことです。

と同時に、大学生として今なすべきことも考えてください。未曾有の大災害、復興には10年、20年とかかるでしょう。この国を豊かに動かし続けていくことなしに、被災者の方々の幸せはあり得ません。勉学に励み、社会に貢献できる力を身に付けること、それが皆さんのまずやらなければならないことだと思います。

図書館は皆さんの“勉学のサポート”のために、知恵を絞り、環境を整えてお待ちしております。もちろんそれに加えて“知的な楽しみ”を提供できる場であることも、決して忘れてはなりません。ぜひ図書館に足を運んでください。

(私は3月31日で任期が終了します。皆さまのお力添えに心より感謝申し上げます。)





出会いの場としての図書館

大学院教育学研究科 教育実践創成専攻 ヒライ キミヨ 平井 貴美代

私は山梨大学に赴任してきたばかりの新参者ですし、格別の読書家というほどでもありません。そのような者に執筆依頼が舞い込んだのは、こちらにお世話になるようになって以来、わずか2年半足らずの間ですが、何かと言うと図書館スタッフの皆さまのお手を煩わし書庫の奥深くに眠っていた文献を探し出していただき、また外部から文献を取り寄せていただくなど、図書館の利用頻度が突出して多いためではないか、とちょっぴり反省してしまいました。

利用頻度の多くなってしまふ理由は、やはり私が歴史的な研究をしているからということなのでしょう。普通ならば利用する文献は新しければ新しいほど良いということになりま

すにもなりましよう。ところが歴史を研究する者には、これまで出版されたあらゆる著作を前提に今の議論が積み上げられているということもあって、新しければ新しいほど良いという原則が当てはまりません。読まなければならない文献の量は途方もなく多いのですが、この研究をやって良かったなと思うことは、そうして出会った古い著作に様々な発見があり、今ではあまり顧みられなくなった素晴らしい文章に触れる機会に恵まれるということです。

利用者の方々も新作ばかりでなく書架や書庫に眠っている素晴らしい著作を探索してみませんか。図書館スタッフの皆さんも、素晴らしい出会いを快くサポートしてくださるはずですよ。また古くとも貴重な本が失われないためにも、書庫の整備・増築等につきましては予算の手当てをお願いしていきたいです。

[本館]

図書館 利用者の 声

国試的な図書館の利用

医学部 医学科6年 ツカノ コウスケ 塚野 航介

この原稿を書き出している今は、つい先日国家試験を終えたばかりで、この一年間を振り返ると本当によく図書館を利用していました。国試の勉強のつらい日々を思い出しながら国試的な図書館の利用について書きたいと思います。

6年になると卒業試験、国家試験があるため、多くの学生が大学の自習室や図書館で勉強するようになります。自宅だと試験勉強が進まない学生にとって、快適な自習環境を提供してくれる図書館はありがたい存在です。

国試の勉強のコツとして一人よがりな勉強をせず皆と歩調をあわせ同じ内容の勉強をすることが挙げられると思いますが、図書館に行くと、皆の勉強の進捗状況が分かり良いペースで勉強できます。図書館では国試関連の本も充実しており、本をリクエストするとすぐ図書館に入ります。また、最近は国家試験対策に予備校の講座をインターネットで受講していますが、図書館ではインターネット環境があるのでこれらの講座を視聴することもできました。このように図書館を上手く活用し、分からない問題を皆で相談したり、図書館の本を使って調べたりしなが

ら、国試の勉強を進めることができました。

最近、図書館にケアネットのDVDコーナーができました。医学を学ぶ教材として書籍はもちろん大切ですが、他の手段としてDVDなど動画で講義を聴くとより理解が深まるのではないのでしょうか。ケアネットの講座はとても分かりやすく、国家試験対策にはもちろんのこと、臨床の講義が始まる3年ぐらいから講義の補助教材として、研修医になっても役立つ内容だと思います。(私はケアネットの回し者ではありません。)医学部図書館にはケアネットのDVDがほぼ全て揃っているの、是非利用すべきだと思います。

学生生活を振り返ると国家試験のある最終学年が一番勉強していました。例年、国家試験や定期試験の時期は図書館が混み合い席を探すのも苦労しますが、今回、国家試験勉強用に席を用意して頂きました。おかげで医学科、看護学科の学生は、国家試験の勉強に専念することができたと思います。国家試験対策に勉強環境を整えてくださった大野伸一先生、図書館の職員の皆様、本当にありがとうございました。

[医学分館]



『文明化した人間の八つの大罪』

K. ローレンツ 著, 日高敏隆, 大羽更明訳

思索社

ミソノウ タク

工学部 循環システム工学科 御園生 拓

私たちの体は長い時間をかけて進化してきたものだというのは、少なくとも日本人にはそう違和感なく受け入れられると思います。では、心は？となるとどうでしょう。心は体とは別だと考えていませんか？ 20世紀の終盤に進化心理学という新しい学問分野が生まれ、「ヒトも、生物としての基本原則に則って行動する」という証拠が積み重ねられています。私たちの行動を決める心もまた、生物進化の産物なのです。

さて本の紹介です。これは、ノーベル医学生理学賞を受賞したオーストリア生まれの動物行動学者、コンラート・ローレンツが、晩年(ドイツ語版1973)に残した人類への警鐘です。ここでは、人類の将来を危うくする八つの要因が「罪」として断罪されます。ローレンツの挙げた八つの大罪とは、 1. 人口過剰, 2. 生活空間の荒廃, 3. 人間どうしの競争, 4. 感性

の衰滅, 5. 遺伝的な退廃, 6. 伝統の破壊, 7. 教化されやすさと, 8. 核兵器です。5章以降、特に6章などは、年寄りの愚痴か?! という感じが強いし、生物は本能によって自らの種の繁栄のために行動するといった、今では誤りであるとされる言辭があちこちに出てくるし、科学的に見るといろいろ問題もある本なのだけれど、それを補って余りある迫力で、生物としてのヒトの心と、人類が築いてきた文明との齟齬を抉り出します。進化心理学の先取り、あるいはその起源となった本としてお勧めです。



本館2階
一般書架



医学分館2階
第2閲覧室



『道は開ける (How to stop worrying and start living)』

D・カーネギー 著, 香山 晶 訳

創元社

イシハラ ヒロシ

医学部 内科学講座第2教室 石原 裕

表題の本は今の日本が直面している大きな困難に比べればはなはだ矮小な個人的な悩みに対して如何に立ち向かうかについて語ったものである。著者の名前から成功した大企業の経営者の自慢話と勘違いして書名は知りながら長く手に取ったことはなかったが、実は著者デール・カーネギーは雑誌記者、セールスマンなどを経て人間関係やコミュニケーションの研究教育で20世紀前半に活躍した人である。自分や知人の体験と古今の書物をもとに生活上の、仕事上の、人間関係の悩み、心を疲弊させ、睡眠や健康を奪い、果ては自殺にまで追いやる悩みの対処法を語っている。アメリカ人らしいプラグマティズムに貫かれており、聖書や哲学者の言葉が引用されているが宗教や哲学のにおいはほとんどない。世界的なロングセラーであるそう

だが、日本ではあまり話題に上がったことはないように思う。姉妹書である「人を動かす」もベストセラーであるとのことだが、自分自身の心のありようを冷静に見つめ、共感により人と力を合わせてゆくことを説くこの2冊は、近い将来ストレスが多く、また、多職種が共同して作業を行う実社会で活躍するであろう学生諸君に名前だけでも覚えていてもらいたい本である。



WY9

医学分館2階 第3閲覧室



WY9

医学分館2階 第3閲覧室

利用環境の整備について「附属図書館利用者アンケート」を実施しました。

附属図書館では、平成21～22年度本館、及び医学分館で行った利用環境の整備について、実際に図書館を利用した皆様を対象として、「附属図書館利用者アンケート」を実施しました。本館では、平成22年4月から5月に実施し、10月にアンケート集計結果をHPへ掲載しました。また、医学分館では平成22年10月末から12月中旬に実施し、平成23年2月にアンケート結果を医学分館のHPへ掲載しました。

利用者の皆様には、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。多くの利用者から「良くなった」との回答をいただきましたが、今後も図書館の改善に取り組みたいと思います。自由解答欄であるコメントには、本館159件、分館194件の貴重な意見が寄せられました。その中で、要望の多かった内容について取り上げ、ご紹介させていただきます。なお、詳細は各HPをご覧ください。

資料の希望について



小説など種々希望の図書を増やしてほしい 本館



蔵書を充実してほしい 医学分館

⇒両館とも、必要な本や不足している本、読みたい本などがありましたら、「学生リクエスト」を活用して、目的の図書をご利用ください。



図書館施設・設備について



空調の温度管理についての要望 本館

⇒広い館内のため温度を一定にすることは難しいです。快適な場所を見つけていただく方法もありますが、空気の循環をよくすることも検討します。



座席数がまだ不足している 医学分館

⇒昨年夏に資料を一部本館へ移動し、書架を撤去してスペースを増設し、座席数を増やしましたが、現時点では、これ以上の増加は困難です。退席する際には、次に利用する人のために必ず座席を空けて、荷物を置いたままにしないでください。

図書館利用のマナーについて



学生の騒音についてクレーム 本館

⇒職員が見つけた場合は、注意、退館など厳正な対応をとるようにしています。取りあえずは騒音元から離れるなどの対応をお願いします。



机上に放置荷物が多いため、対策をしてほしい 医学分館

⇒分館としてもたいへん頭を痛めています。注意の貼り紙、個別に館内の見回り指導、また、不定期に荷物を放置したまま利用していない方の荷物をカウンターで預かるといった方策も行っています。職員が放置荷物の対応をしなくても済むように、利用しないときは、荷物を持って退館するよう、マナーを守って利用してください。

両館とも、気持ちよく利用出来るよう、お互いにマナーに心を配り、図書館を有効に活用してください。



図書館トピックス

- テーマ展示「新生活におくる本」開催中
- 「UpToDate」オンライン版利用開始
- 3F環境整備完了[本館]・国試優先席の設置[分館]
- 医学科第26期卒業生より図書寄贈
- 図書館HPリニューアル！！



◎ テーマ展示「新生活におくる本」開催中 [本館]



学生の方々に新しい趣味分野への興味を持ってもらうため、期間ごとに1つのテーマを設定し、関連した図書を展示、貸出をする「テーマ展示」。今回は“ひとり暮らし”“料理”“学生生活”などをキーワードに選書した「新生活におくる本」です。展示は本館2階の特別展示コーナーで行っており、すべて貸出可能です。ぜひご利用ください。

◎ 診療情報データベース「UpToDate」オンライン版の利用が可能になりました。



2011.2.15 データベース講習会「EBMR & UpToDate 活用ガイダンス」

「UpToDate」は、これまで図書館内の特定のパソコンでのみ利用可能でしたが、医学部キャンパス内で学内LANに接続されているパソコンであれば、何処からでも利用が可能になりました。すでに1月下旬よりトライアル利用が開始され、4月から正式にサービス開始となります。

■ UpToDate とは？ ■

臨床上の意思決定サポートツールとして、エビデンスに基づいたピアレビュー（同領域の専門家による査読）を受けた情報源

<http://www.uptodate.com/online>

◎ 3F新聞・雑誌閲覧室の環境整備完了しました。 [本館]

本館では、3階新聞・雑誌閲覧室の環境整備が完了しました。これまで3階ロビーにあった新聞閲覧場所を移動し、座ってゆっくり読みたいという利用者の希望により閲覧台を設置。閲覧棚が分散していた雑誌は新たに棚を増設し、ソファを設けました。お気軽にご活用ください。



◎ 国試優先席を設けました。 [医学分館]

* 目印はコレ！



医学分館では、医師または看護師などの国家試験を受験する最終学年の学生希望者を対象として、今年度1月から2月末までの期間限定で、館内に国試優先席を設けました。

これは、他学年の学生の学年末試験なども重なり、利用者が急増するこの時期、特に国家試験の勉強へ集中してもらうために、試行的に設けたものです。

今年度は、33名の学生へ提供することができました。たいへん好評でしたので、来年度も同様な形で継続をする予定です。

◎ 卒業記念品として図書を寄贈していただきました。 [医学分館]

医学科第26期卒業生より、卒業記念として、図書およびDVDを図書館に寄贈していただきました。

平成23年2月より、医学分館1階新着図書コーナー横に展示しております。図書は館外貸出も可能です。DVDは館内視聴が可能です。6年生が実際に選んで購入した資料ですので、是非今後の学習にご活用ください。



◎ 図書館HPリニューアル !!

<http://lib.yamanashi.ac.jp/>



山梨大学附属図書館ホームページが新しくなりました。これまでトップページに多くのリンクが設置されていましたが、新しいページでは利用者の目的によって項目から検索でき、シンプルなデザインで使いやすくなりました。URLも変更しましたので、ブックマークやお気に入り登録している方は、リンク設定の変更をお願いします。

今後のイベント紹介

[連続講座]

平成23年度山梨県・山梨大学連携事業のお知らせ



2011.1.27 第5回 シンポジウム
「各国事業から見る子どもと本のかかわり」

子ども図書室では、山梨県と山梨大学の連携事業の一環として、山梨県教育委員会と山梨大学の共同企画により、「子どもと本を学ぶ・連続講座」(全5回)を開催しました。最終回は1月27日にシンポジウム「各国事業から見る子どもと本のかかわり」を行い、約50名ほどの参加者ととも、各国の絵本との出会いやかかわりの違いなどについて話し合いました。

平成23年度も「子どもと本」に関する連続講座が開催されます。第一回は6月16日(木)の予定です。内容や会場など詳細は、各関連サイトや館内掲示でお確かめください。

お申し込み・お問い合わせ

山梨県教育庁 社会教育課 社会教育振興担当

〒400-8504 甲府市丸の内一丁目6-1 TEL 055-223-1771 FAX 055-223-1775

E-mail: shakaikyo@pref.yamanashi.lg.jp



◆ イベント詳細については、ポスター・パンフレット・山梨大学附属図書館ホームページ等でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしています。

学外の方への利用案内

本館及び医学分館は、山梨大学以外の大学生をはじめ一般の方々も利用できます。詳細については、<http://lib.yamanashi.ac.jp/> をご覧いただくか、本館 Tel:055-220-8066 (情報サービスグループ)、医学分館 Tel:055-273-9357 (医学情報グループ)にお問い合わせください。



山梨大学附属図書館報
「やまなし」
第8巻第2号

2011年3月31日 発行

編集：館報編集委員会

発行：山梨大学附属図書館

〒400-8510

甲府市武田四丁目4-37

TEL 055-220-8063

● 表紙撮影：図書・情報課 職員
場 所：山梨大学 (医学部キャンパス)